



市民とつくる自立したまち

# 自治・行政



ネットワーク型の

住民自治組織

まちづくり協議会

「私たちのまちは私たちの手で」を基本理念に、地域住民や団体が連携



地域の魅力をアピールするまち自慢フォトコンテスト(石井地区)

してネットワーク型の住民自治組織「まちづくり協議会」を組織しています。32地区(令和5年12月31日現在)で設立され、地域の団体と連携しながら、地域の課題解決や地域特性を生かしたまちづくりを進めています。地域がまちづくりを主体的に取り組むのを支援し、一定の権限や責任と財源を徐々に地域へ移譲していきます。

## まちづくり提案制度

若い人たちが「まちづくり活動」に関心を持ち、積極的に参加できる機会をつくるため、平成28年度から「まちづくり提案制度」を開始し、学生が主体となるNPO団体のまちづくり活動を応援しています。

自分たちの考えたまちづくり活動を提案し、実際に取り組みます。制度

開始からこれまでに57団体の活動を支援しました。



若い人がまちづくり活動の提案を行う「まちづくり提案制度」

回答し、全ての意見を検討して、できることから市政に生かしています。

## 効率的な行財政運営の推進

### 健全な行財政運営と 職員資質向上、 公共施設マネジメントの推進

デジタル技術を生かし行政サービス改革や業務改善のほか、民間活力の活用や適正な定員管理など、効率的に行政運営を推し進めます。また、持続可能な行財政基盤を整えるため、事務事業の見直しや経常経費の縮減、適正な債権管理などで、歳出を抑制し歳入を確保します。

また、職員の資質を高めるため、実効性のあるさまざまな職員研修を実施しながら、職員の意欲を引き出し、前向きにチャレンジし続ける組織風土を醸成します。

さらに、民間と連携し未利用物件を売却・貸付するなど、公有財産を有効活用するほか、市有施設の劣化度や利用状況などを把握し、施設量を最適化したり、計画的に維持保全・更新したりすることで、財政負担の平準化と効果的な資産運用を行います。

## タウンミーティング

市民と市長が直接対話

「現地・現場を大切に」「市民目線を大切に」を基本姿勢に、平成23年1月から「タウンミーティング」で市民と市長が直接意見交換しています。「地域別タウンミーティング」に加え、「世代別・職業別タウンミーティング」を開催し、135回(令和6年3月末時点)を数えます。

特徴は「聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない」こと。市民の皆さんから頂いた意見に、市長が直接

市民とつくる自立したまち

## 自治・行政

より優しく より強い まつやまへ  
一人でも多くの人を笑顔に

大好きな道後のために、まつやま観光キッズとして活動中!



まつやま  
NEXT  
GENERATION

～笑顔を広げ未来へつなげるこども大使～

松山市立湯築小学校  
石田 龍聖さん

「松山市や道後のファンを増やしたい」とまつやま観光キッズになり、お出迎えやティッシュ配りなどで観光客とふれあっています。ティッシュを手渡すときには「どこから来られましたか」などお声がけをし、笑顔で会話をしています。僕の父は道後商店街で約80年続いている店を継いでおり、商店街の理事長として道後を元気づけようとしています。僕も大好きな道後のために、これからも自分にできることに取り組んでいきたいです。

